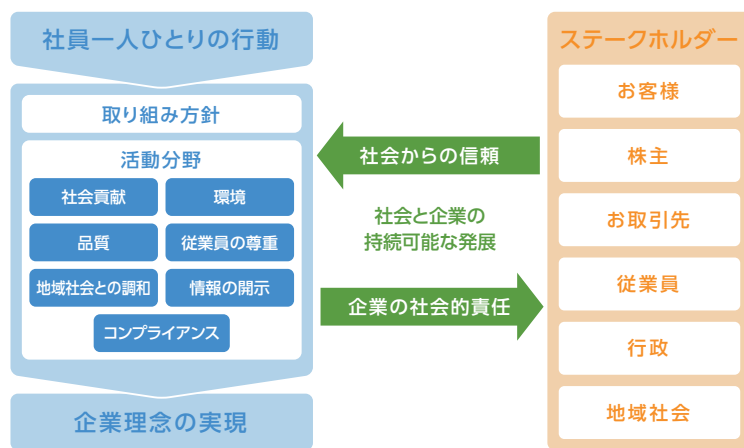


いすゞの CSR

基本的な考え方

いすゞは、いすゞが社会と共に持続可能な発展をしていくためには、ステークホルダーの皆様との信頼関係を築きながら、企業の社会的責任を果たし、「企業理念」の実現を図ることが重要であると考え、これを「いすゞのCSR活動」と位置付けています。

この活動は、従業員一人ひとりが「取り組み方針」を理解し、それぞれの活動分野で行動することにより、企業理念の実現を目指していくものです。いすゞはこれからも、CSR活動により、企業の社会的責任を果たすと共に、社会からの信頼を獲得し、社会の持続可能な発展に貢献することを目指します。



目録
企業理念・行動指針
page 4

◆取り組み方針

お客様からの信頼	社会的に有用な商品・サービスを提供することで、豊かな暮らし創りに貢献し、お客様の信頼を獲得します。
公正かつ健全な行動	公正かつ自由な競争に基づいた取引を行います。また、行政・政治と健全かつ正常な関係を保つと共に、市民社会の一員として、反社会的勢力および団体とは断固として対決します。
企業情報の開示	株主様はもとより、広く社会的にコミュニケーションを行い、企業情報を適時・適切かつ公正に開示します。
従業員の尊重	従業員が能力を最大限発揮できるように、人格・個性を尊重し、安全で働きやすい環境を実現します。
環境保全への貢献	事業活動を通して、環境保全に取り組むことはもちろん、地球に暮らす市民として、社会や地域の環境保全活動にも積極的に取り組みます。
社会への貢献	良き企業市民として積極的に社会貢献活動を行います。
国際・地域社会との調和	国や地域の文化、慣習を尊重し、事業活動を通してその発展に貢献します。

いすゞグループのステークホルダー

いすゞグループは下記の皆様を主なステークホルダー（利害関係を有する方々）として、事業活動を行うとともに、CSR活動を展開しています。

主なステークホルダー	ステークホルダーへの責任	主な対話の機会・情報開示
お客様	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 製品・サービスの安定供給 ▶ 安全で安心な製品・サービスの提供 ▶ 価値のある製品・サービスの提供 ▶ 環境に配慮した製品・サービスの提供 ▶ 製品情報の適切な提供 ▶ お客様への的確な対応とサポート ▶ お客様満足度の向上 ▶ お客様情報の適切な管理 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日常の営業活動 ▶ お客様相談センター（電話、メール） ▶ お客様満足度調査 ▶ 「お客様へのお知らせ」（いすゞホームページ） ▶ 「CSRニュース」、「CSRレポート」（いすゞホームページ）
株主	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な利益の還元 ▶ 適時、適切な企業情報の開示 ▶ 企業価値の維持、増大 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 株主総会 ▶ 「CSRニュース」、「CSRレポート」（いすゞホームページ）
お取引先様	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公平・公正な選定と取引 ▶ CSR活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日常の購買活動 ▶ 生産説明会 ▶ 購買方針説明会 ▶ 「CSRニュース」、「CSRレポート」（いすゞホームページ）
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公平・公正な評価・処遇 ▶ 適切な人材の登用・活用と育成 ▶ 人権の尊重 ▶ 多様性の尊重 ▶ ワークライフバランスの推進 ▶ 労働安全衛生と健康への配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 従業員満足度（ES）調査 ▶ コンプライアンスアンケート ▶ 労使協議会 ▶ 報告・相談ルート ▶ ヘルプライン（目安箱） ▶ 安全衛生委員会 ▶ 社内報 ▶ 「CSRニュース」、「CSRレポート」（いすゞホームページ）
行政	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 法令遵守 ▶ 税金の納付 ▶ 諸施策への協力 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自工会等の諸団体を通じての対話 ▶ 「CSRニュース」、「CSRレポート」（いすゞホームページ）
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域の文化・諸慣習の保護・尊重 ▶ 地域発展への貢献 ▶ 地域活動への協力 ▶ 事業所での事故・災害の防止 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 工場見学 ▶ 地域イベントへの参加 ▶ 事業所イベントへの招待 ▶ 「CSRニュース」、「CSRレポート」（いすゞホームページ）

重要課題特定に向けた取り組み

いすゞでは変化する社会要請を捉え、事業活動の中でこれに対応していくことが重要と考えています。こうした考えのもと、2015年よりいすゞが取り組むべき重要課題(マテリアリティ)の特定に向けて検討を進めてきました。

2018年には、社内で議論を重ねて選定した9つの課題を、ステークホルダー視点であらためて検証し、重要課題の最終化に取り組んでいます。今後は定めた重要課題についてKPIを設定し、取り組みを推進していく計画です。

2017年までに実施

Step 1 重要課題候補の抽出・整理

- ① 以下から重要課題候補を抽出
 - ▶ 各種ガイドライン(GRI、ISO26000、SDGs、SASBなど)
 - ▶ 日々のステークホルダーとのコミュニケーション
- ② 上記を統合・整理しスクリーニングを行い、検討候補とすべき重要課題候補を設定

Step 2 社会、自社視点での評価仮説の策定

- ① 社会視点、自社視点の評価軸を策定
- ② ①での評価軸に基づき、以下の評価仮説を設定
 - ▶ いすゞの事業に関する外部環境、特性、戦略、CSR活動状況などを踏まえて自社視点での評価仮説
 - ▶ 社会動向、業界動向などを踏まえ、社会視点での評価仮説

Step 3 重要課題仮説の設定

- ① Step2での二つの評価仮説を合わせて「重要課題仮説」を整理
- ② 各重要課題候補を統合し、いすゞの重要課題仮説を策定

2018年までに実施

Step 4 自社視点で再評価

- ① 中期経営計画と連動した「事業を通じて解決したい社会課題」の設定
- ② CSRの視点での再評価

Step 5 ステークホルダー視点で検証

- ① 有識者を招いたダイアログにて、いすゞの取り組むべき重要課題について議論(P.9参照)

今後に向けて

Step 6 KPIの設定と取り組みの推進

- ① 社会性推進会議にて重要課題それぞれについてKPIを設定。全社一体となり取り組みを推進する